

2022年度TPM優秀賞（海外事業場） 審査方法について *確定版（2021年11月）

はじめに

新型コロナウイルスは、現在も影響を与え続けています。そのため、過去2年間と同様、2022年度TPM優秀賞につきましても、本来とは異なる方法で審査を進めさせていただくことといたしました。

これによって皆さまにはご不便をおかけすることもあるかと存じますが、ご理解のほどお願いいたします。なにかご不明の点などございましたら、TPM賞審査事務局へお問い合わせください。



審査方法 第1次審査・第2次審査

第1次審査



オンライン審査
対象：全カテゴリー

渡航可能



渡航不可

第2次審査



現地審査
対象：全カテゴリー



オンライン審査
対象：ワールドクラス
アドバンスト特別賞



書類審査
対象：特別賞
継続賞
カテゴリーA
カテゴリーB



2022年6月末頃、JIPMはCOVID-19の状況を踏まえて渡航可否の判断します

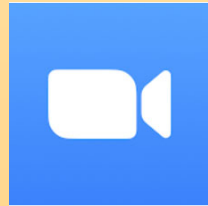
第1次審査における指摘事項によって、第2次審査がオンライン審査になる場合があります

第1次審査(オンライン審査)

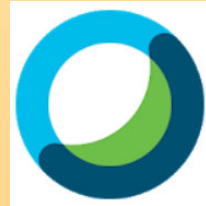


オンライン審査
対象：全カテゴリー

審査ではWeb会議システムを使用します



ZOOM



WebEx

JIPMから招待が可能

* 受審企業から招待することも可能です

その他システム

JIPMから招待できませんので、受審企業から招待する必要があります

* システムが利用可能か、事前に確認します

<必要な設備>

PC: Web会議システムに接続するとともに、審査資料を画面上で共有いただくために使用します

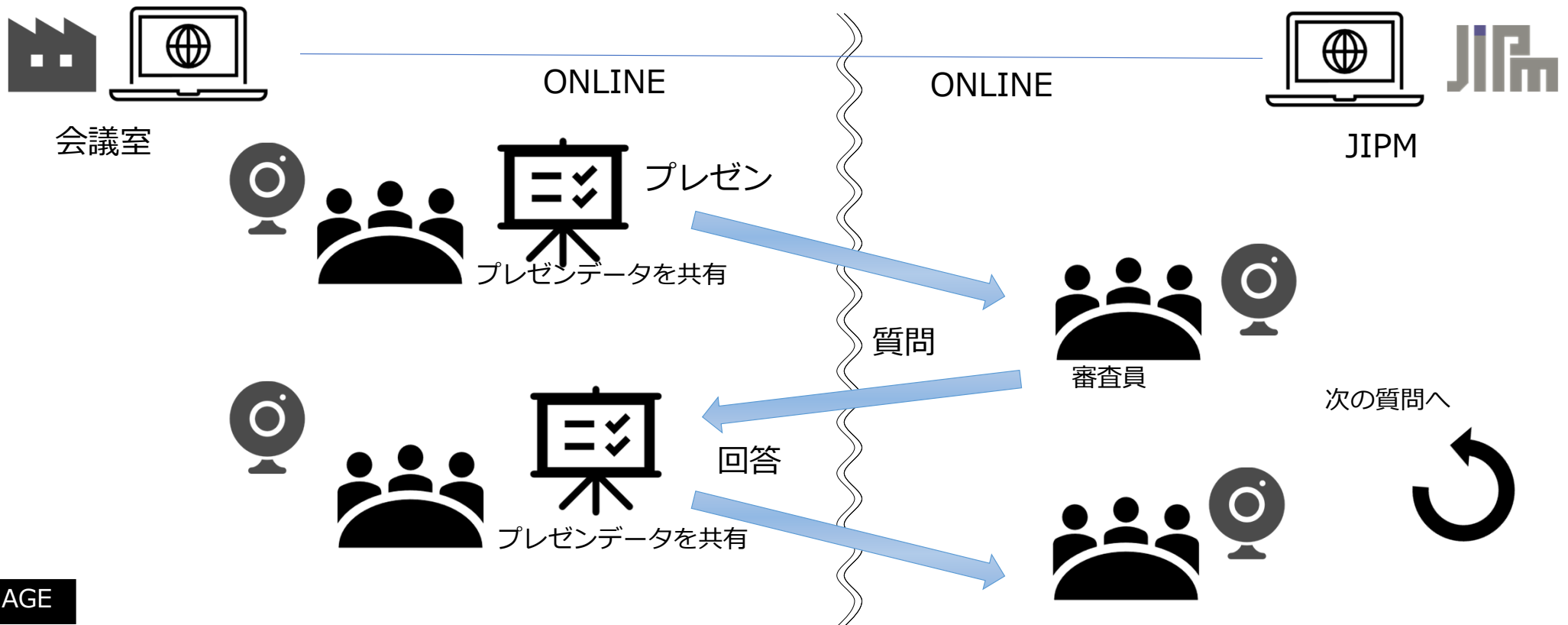
*安定した回線を維持するため有線LANの使用を推奨します

カメラ: Web会議システムに接続可能なカメラをご用意ください。プレゼン風景などを映します。PC内蔵のものでも構いません。

マイク: Web会議システムに接続可能なマイクをご用意ください。プレゼンや質疑応答の際に使用します。PC内蔵の者でも構いませんが、人数が多い場合は集音機能のついたものを推奨します。

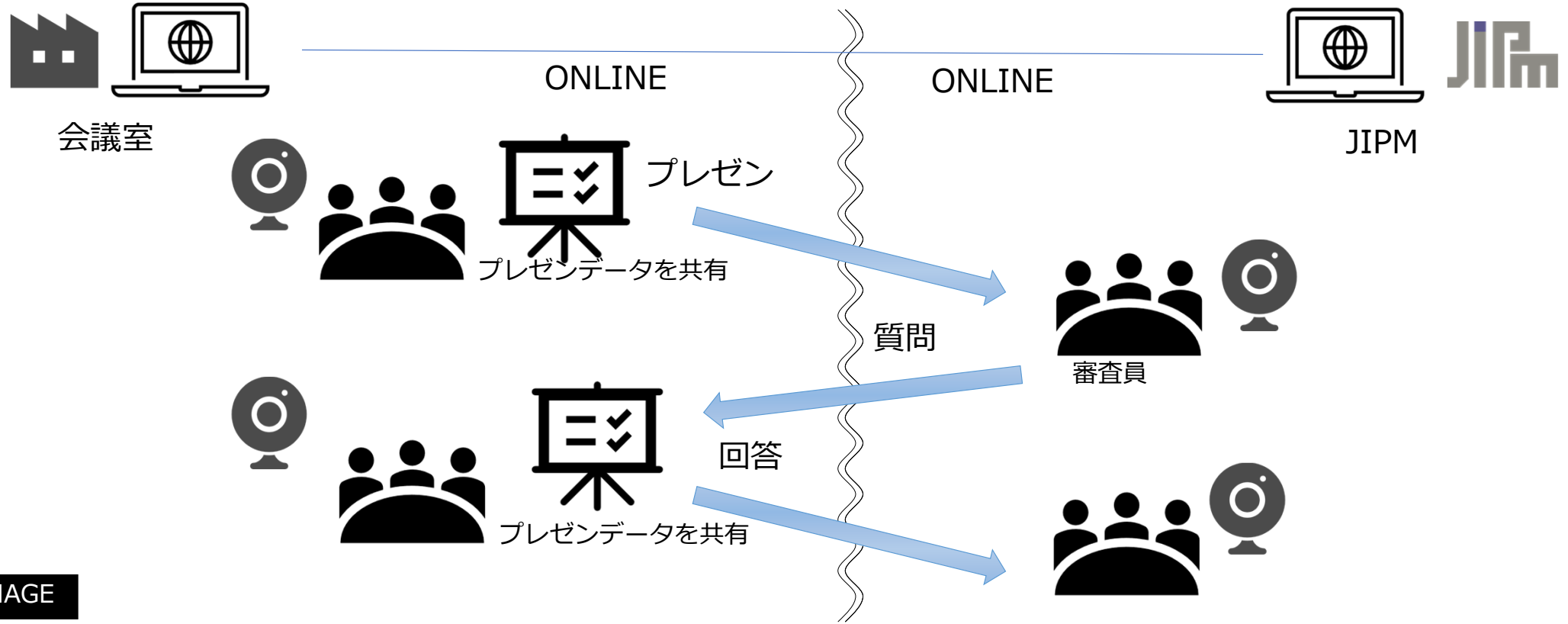
第1次審査(オンライン審査)

- 概況説明 (A Schedule)
TPM実施概況書 (概況書) の各賞についてのプレゼンテーションおよびQ&Aを行います。審査員は、受審企業による概要説明の後、質問を行います。
審査員は事前に提出された概況書およびプレゼンテーションデータ等を確認したうえで、審査に臨みます。



第1次審査(オンライン審査)

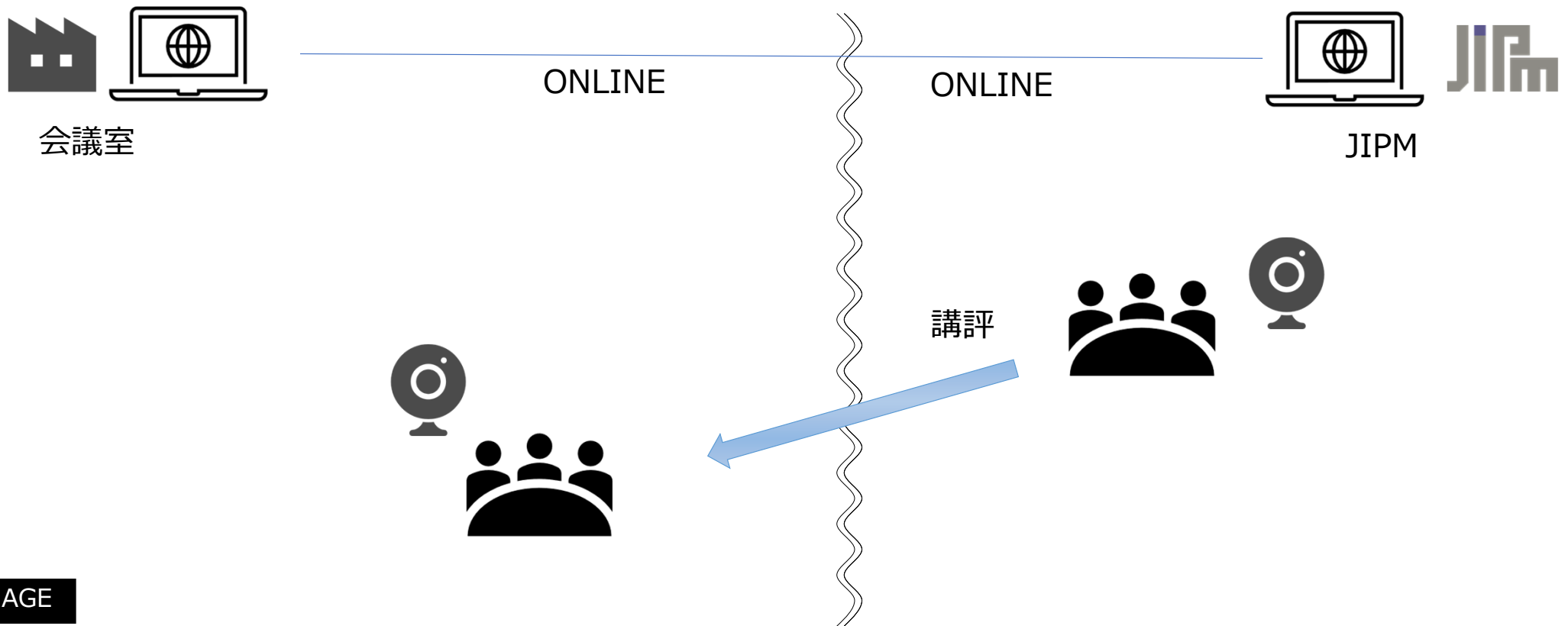
- 現場審査 (B Schedule)
具体的な活動事例のプレゼンテーションとQ&Aを行います。審査員は受審企業による説明の後、質問を行います。
審査員は事前に提出された概況書およびプレゼンテーションデータ等を確認したうえで、審査に臨みます。
審査当日、現場でプレゼンをしていただいたり、撮影をしていただく必要はありません。



IMAGE

第1次審査(オンライン審査)

- 講評
概況説明と現場説明の後、審査員は講評を行い、評価と指摘事項をお伝えします。



第1次審査(オンライン審査)

書類提出スケジュール

審査前

| 内容 | 配送方法 | 期日 |
|--|--------------------|--------------|
| <ul style="list-style-type: none">TPM活動実施概況書 4冊* + CD/USB 2個 または オンラインストレージ *ワールドクラス賞/アドバンスト特別賞は5冊 | 郵送 | 第1次審査の40日前まで |
| <ul style="list-style-type: none">審査アジェンダ概況説明プレゼン資料現場説明プレゼン資料TPM活動紹介ビデオ | Eメールもしくはオンラインストレージ | 第1次審査の30日前まで |

審査後

| | | |
|--|--------------------|--------------|
| <ul style="list-style-type: none">第1次審査議事録 | Eメールもしくはオンラインストレージ | 第1次審査の30日後まで |
|--|--------------------|--------------|

第2次審査(現地審査の場合)



2022年6月末頃、JIPMはCOVID-19の状況を踏まえて渡航可否の判断します



現地審査
対象：全カテゴリー

審査員が受審企業を訪問します



書類提出スケジュール

審査前

| 内容 | 配送方法 | 期日 |
|--|--------------------|--------------|
| • TPM活動実施概況書 4冊* + CD/USB 2個 または オンラインストレージ *ワールドクラス賞/アドバンスト特別賞は5冊 | 郵送 | 第2次審査の40日前まで |
| • 改善計画書 | Eメールもしくはオンラインストレージ | |
| • 審査アジェンダ | | 第2次審査の30日前まで |

審査後

| | | |
|------------|--------------------|--------------|
| • 第2次審査議事録 | Eメールもしくはオンラインストレージ | 第2次審査の30日後まで |
|------------|--------------------|--------------|

第2次審査(オンライン審査の場合)



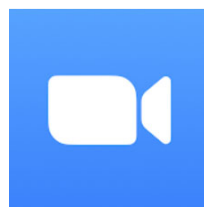
2022年6月末頃、JIPMはCOVID-19の状況を踏まえて渡航可否の判断します



オンライン審査

対象：ワールドクラス賞
アドバンスト特別賞

Web会議システムを使用します
(詳細は第1次審査と同様です)



書類提出スケジュール

審査前

| 内容 | 配送方法 | 期日 |
|--|--------------------|--------------|
| <ul style="list-style-type: none">TPM活動実施概況書 5冊 + CD/USB 2個 または オンラインストレージ | 郵送 | 第2次審査の40日前まで |
| <ul style="list-style-type: none">改善計画書 | Eメールもしくはオンラインストレージ | |
| <ul style="list-style-type: none">審査アジェンダ概況説明プレゼン資料現場説明プレゼン資料TPM活動紹介ビデオ | | 第2次審査の30日前まで |

審査後

| | | |
|--|--------------------|--------------|
| <ul style="list-style-type: none">第2次審査議事録 | Eメールもしくはオンラインストレージ | 第2次審査の30日後まで |
|--|--------------------|--------------|

第2次審査(書類審査の場合)



2022年6月末頃、JIPMはCOVID-19の状況を踏まえて渡航可否の判断します



書類審査

対象：特別賞
継続賞
カテゴリーA
カテゴリーb

受審企業は書類をTPM賞審査事務局へ送付します



書類提出スケジュール

審査前

| 内容 | 配送方法 | 期日 |
|--|------------------------|-------------|
| • TPM活動実施概況書 4冊* + CD/USB 2個 または オンラインストレージ | 郵送 | 2022年11月11日 |
| • 改善計画書 | Eメールもしくはオンライン ストレージ | |
| • 概況説明プレゼン資料 | | |
| • 現場説明プレゼン資料 | | |
| • TPM活動紹介ビデオ | | |

2. プレゼン資料の作成について

●作成時の注意点

音声もしくはノートをプレゼン資料につけてください
(日本語がベターですが、英語でも構いません)



自主保全活動 成果

ページ内容を示すタイトルを付ける

| | Action | Time |
|--------|--|------|
| Step 1 | Xxxxxxxx | 35h |
| Step 2 | Xxxxxxxx | 30h |
| Step 3 | XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX | 27h |

伝えたい内容は大きく表示する
*多くの場合、文字が小さすぎることがあります

点検時間の推移

(時間)

点検
時間



タイトル、項目名、単位を入れる

15

ページ番号を付ける

参考)プレゼン資料の作成について

●作成時の注意点

自主保全設備のビデオ



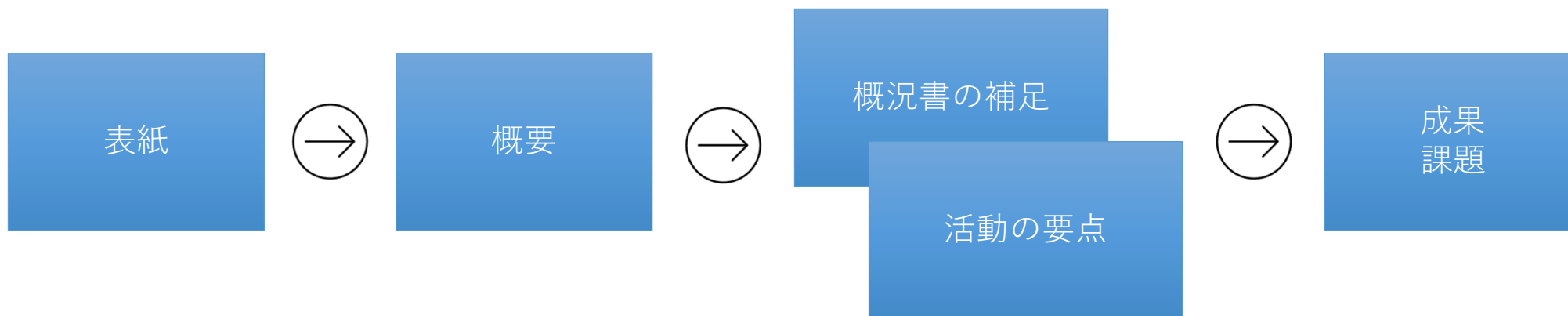
PPTに動画を埋め込むことができる
* 別ファイルでの提出も可能

映像には、テロップあるいは音声による解説
を入れると理解しやすいです

できるだけ高画質になりすぎないようにしてください
推奨：360p(640x360pixel) – 540p(960x540pixel)
* 上記画像は 540p で作成

参考)プレゼン資料の作成について

●概況説明資料の構成例



- 概況書の内容をすべて記載するのではなく、活動の概要や概況書の補足説明、とくに説明したいポイントなどを中心に記載してください。
- ページ数が多い方がいいというものではありません。概況書の補足として、また審査当日に短時間で説明するための資料として活用してください。
- 全ての章合計で200ページ以内を目安にしてください。

参考)プレゼン資料の作成について

● 現場説明資料の構成例



- なぜこのテーマを選んだのか、どのように改善して取り組んだのかがわかるような「流れ」を意識して説明してください
- 対象となる機器や具体的な改善点がわかるように、必要に応じて写真や動画を入れてください
- 審査時には、この資料をもとに説明を行っていただきますが、限られた時間のため、コンパクトなプレゼンテーションにしてください

参考)プレゼン資料の作成について (解説音声・ノートの追加について)

オンライン会議システムを利用した審査への対応に際し、プレゼンテーション資料の事前送付をお願いしています。これは審査員が事前にプレゼンテーションを確認しておくことにより、審査当日の進行（発表および質疑）をスムーズに進めることを目的としたものです。

1日の審査時間（休憩を除く）は最大300分までとさせていただきます。そのため、「実施ガイド」にも記載のとおり、とくに概況説明（Aスケジュール）のプレゼンテーションは要点のみの短時間で行っていただくこととしており、そのためにもプレゼンテーション資料のなかに「解説の音声あるいはノート」を追加していただくよう求めています。

もし、事前提出していただくプレゼンテーション資料のなかに「解説の音声あるいはノート」を追加していただくのが難しい場合は、審査当日に詳しく説明いただく必要があります。その場合は審査時間が限度の300分/日を超えることとなりますので、審査日数を増やしていただく必要があります（※）。

その場合、直前での日数追加はできませんので、必ず審査日程を調整させていただく際にお申しつけください。なお、審査日数が増える場合、審査料も加算されますのでご承知おきください（応募案内参照）。

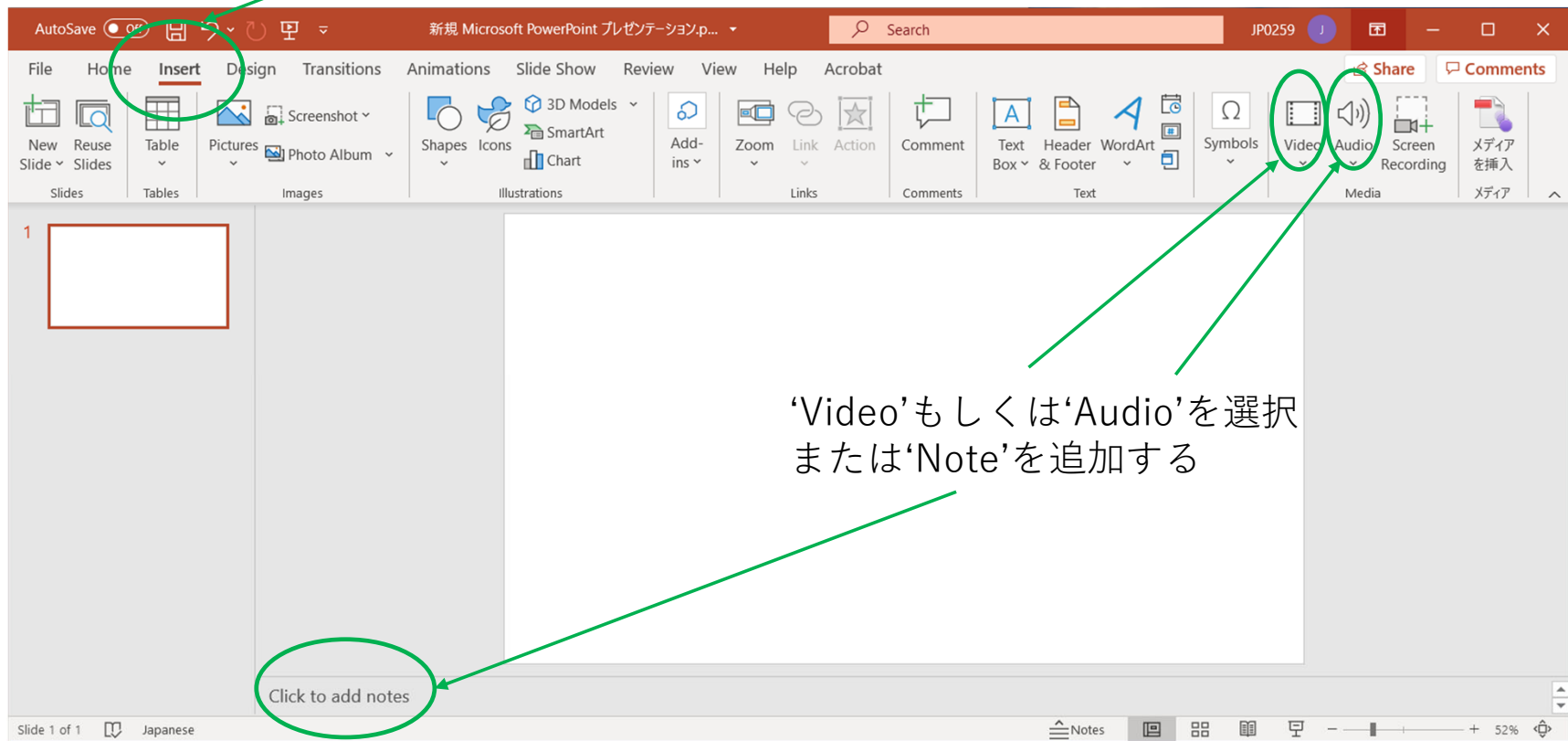
※ワールドクラス賞、アドバンスト特別賞は、2日間実施とされているケースが多いため、当日説明としていただいても結構です

参考) プレゼン資料の作成について (解説音声・ノートの追加について)

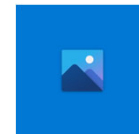
参考

パワーポイントファイルへの動画、音声、ノート追加の方法

‘Insert’を選択



または、「Microsoft Photo (Video Editor)」でも簡単に編集できます。



その他

◆ 接続テスト

審査の3週間前までに、可能な限り評価当日と同じ環境を用意して、Web会議システムとの接続テストを行います

* 所要時間：10～15分

* 確認事項は次のとおり

－ 映像確認：フリーズしないか

→ カメラの映像をお互いにオンにして、問題がないことを確認します

－ 音声確認：音声の断絶がないか、声がおろるか

→ マイクをオンにして、お互いに話をして、問題がないことを確認します

－ 画面共有確認：画面のシェアができるか (PPT/ビデオなど)

→ PPTデータと動画データを画面上で共有し、ページの移動や動画の動き、音声に問題がないかを確認します

* 最も多いトラブルは、音声に関するものです。審査当日と同じ環境（会場、設備）で、事前にトライアルを行うことをお勧めします

◆ 提出物のデータ送信

JIPMでは、Direct Cloud Boxというファイル共有サービスを利用しています。各社に提出用フォルダのURLとパスワードをお知らせしますので、データ提出の際はそちらをご利用ください。

| | |
|---------|--------------------------|
| 有効期限 | 制限なし |
| アクセスレベル | 閲覧後にダウンロード |
| アクセス回数 | 1 / 制限なし |
| パスワード | <input type="password"/> |
| | OK |

‘Direct Cloud Box’ Password entry screen